

## 対象建築物の事業実施計画書

・対象建築物の所有者(法人の場合は会社名等、区分所有又は共有の場合は代表者)

所有者名	株式会社〇〇ホテル
------	-----------

・所有者が2名以上いる場合は、人数を記入のうえ、所有者全員のリスト等(任意様式)を添付してください。

4	名	所有者が4名いる場合で、株式会社〇〇ホテルが代表者を想定しています
---	---	-----------------------------------

・対象建築物の概要

名称	ホテル〇〇 本館	
対象建築物の住所 (住居表示)	〒 1 3 5 - 0 0 1 6	ビル名等を記入する場合は、住所のあとに1文字空けてください
	東京都江東区東陽〇-〇-〇〇	対象地域 No. 473 エリア KA1
地名地番	東京都江東区東陽〇〇〇、〇〇〇	

↑ 都道府県名より記入してください。

用途	ホテル	
構造・階数	鉄筋コンクリート・鉄骨 造	地上 9 階 ・ 地下 1 階 ・ 塔屋 1 階
延べ床面積	① 20,456.78 m <sup>2</sup>	② 20,456 m <sup>2</sup> 補助限度額算定に用いる数値は②となります。
建築年月日	昭和 平成 5 2 年 1 0 月(性能評価書等の発行日)	
改修工法	右記の工法で該当するものを選択してください。	<input type="checkbox"/> A : 通常の工法 51,200円/m <sup>2</sup>
		<input checked="" type="checkbox"/> B : 免震等特殊工法 83,800円/m <sup>2</sup>

・事業に要する経費

項目	金額欄(千円未満切捨て)							備考
①実際に改修工事に要する費用	1	3	0	0	0	0	千円	
②補助限度額Ⅰ	1	7	1	4	2	1	千円	「改修工法」(A)単価×延べ床面積、又は(B)単価×延べ床面積
③補助限度額Ⅱ	1	7	3	1	5	1	千円	(8,150円/m <sup>2</sup> ×延べ床面積)+16億3千万
④補助基本額	1	3	0	0	0	0	千円	①②③のうち最も低い金額
⑤補助申請額	1	4	9	5	0	0	千円	④×補助率(11.5%)

金額の記入は全て右詰で記入してください。(金額欄に不要な記号は記入しないでください。)

・事業期間

事業着手(契約予定)	令和	〇	〇	年	〇	〇	月	〇	〇	日	←補助金交付決定後に事業着手(契約)するものが対象となります。
完了(予定)	令和	〇	〇	年	〇	〇	月	←改修工事事業の完了及び支払いの完了(領収書等)が事業完了となります。			

・安全性の確認(以下のいずれかにチェック)

- 長周期地震動に対して安全な構造となるものとして性能評価を受けた性能評価書及び別添等のうち建築計画概要及び設計に用いた長周期地震動がわかる部分、もしくは、長周期地震動に対して安全な構造となるものとして建築基準法第20条第1項第1号に基づく認定を受けた認定書及び別添(別添等関係資料を含む)の写し
- 平成28年6月24日付国土交通省住宅局建築指導課企画専門官発「超高層建築物等における南海トラフ沿いの巨大地震による長周期地震動対策について」3.(1)において特例措置が認められているものにあつては、全体計画
- 建築士(それぞれの業務範囲に限る。設計者でも可。)による安全性を確認したことを示す文書  
※下記に記載してください。

氏名		
資格	( ) 建築士 ( ) 登録	第 号
	事務所名 ( )	( ) 知事登録 第 号
	所在地	
	電話番号	

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。